



名城大学



CANコネクタ

福森聡哲、小阪正朋、大道武生(名城大学 大道研究室)

概要:

CANコネクタは、機能をモジュール化することによって種々のセンサをCANネットワークに簡易に接続することができるコネクタである。また、CANを用いることによってPC等への接続を省配線化・分散制御を行うことができる。なお、対応モジュールはRTコンポーネントのI/O形式に準拠する。

特徴:

- ◆CAN通信。
- ◆外部装置との入力・出力の両方ができる。
- ◆CAN-ID、Address、Dataの3つだけで機能モジュールを操作する。

インタフェース: OS: Windows

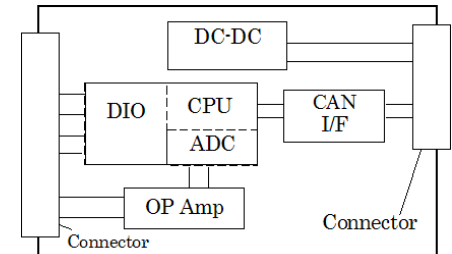
PCモジュール(ICN_PCと呼ぶ)の提供
(インターフェース社製CANカード)
(Microsoft Visual C++ 6.0)

CANコネクタ機能モジュールの提供
(大道研究室製作CANコネクタ)
(Renesas HEW: High-performance
Embedded Workshop Version 4.03.00.001)

ライセンス(公開条件):

著作権は名城大学大道研究室にあります。

CANコネクタ(サイズ: 25×30×5mm)



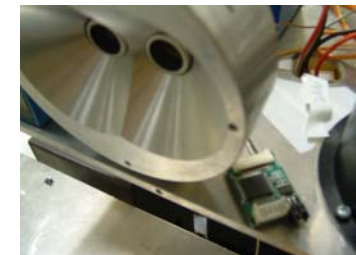
CANコネクタの使用例



磁気センサの平行入力



ロータリエンコーダの
アップダウンカウント



超音波センサのアナログ入力

連絡先:

名城大学 大道研究室 福森 聡哲
〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL: 052-832-1151(内線5117) FAX: 052-832-1235
e-mail: m0635024@ccmailg.meijo-u.ac.jp
URL: <http://mech.meijo-u.ac.jp/prof/oomichi/zemi/index.html>

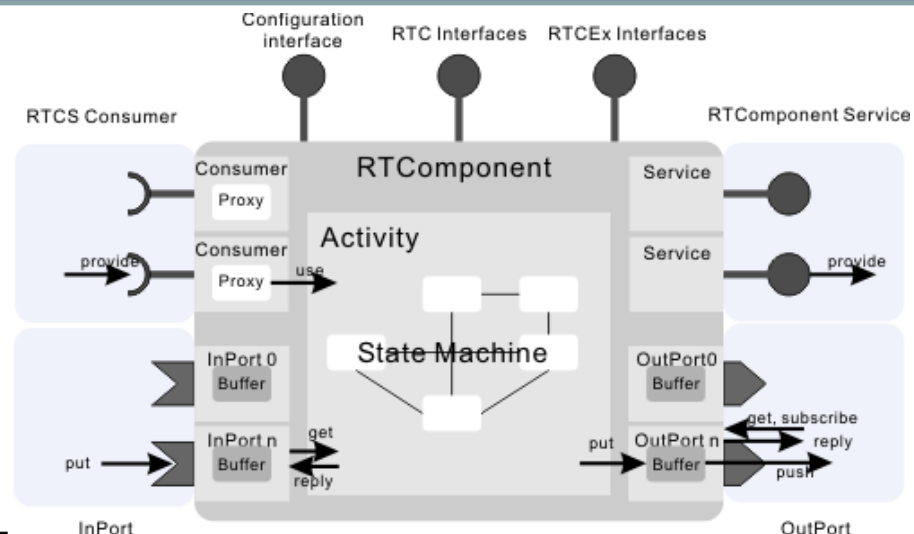
機能モジュール

● RT Component(ICN_PC)

- ①CAN通信よりデータを送信する(put)
- ②CAN通信より受信したデータの処理(解釈)を行いバッファに書き込む(push)

● RT Component(CANコネクタ)

- ①CAN通信よりデータを受信する(get)
- ②受信データを直ちに処理(解釈と実行)を行いCAN通信よりデータを返信する(reply)



コントローラ

